

## 令和7年度第3回

### 浜松市障がい者自立支援協議会企画会議会議録

1 開催日時 令和7年9月25日（木） 午前10時00分～正午

2 開催場所 浜松市役所3階 32会議室

#### 3 出席状況

所属	出席者氏名
障害保健福祉課 企画・相談グループ	大庭 靖史
	鈴木 史哉
中央福祉事業所社会福祉課 障害福祉第二グループ	石川 鉄兵
中央福祉事業所社会福祉課 東社会福祉グループ	中谷 知由
中央福祉事業所社会福祉課 西社会福祉グループ	杉森 泉
中央福祉事業所社会福祉課 南社会福祉グループ	欠席
浜名福祉事業所社会福祉課 北社会福祉グループ	山本 睦代
浜名福祉事業所社会福祉課 障害福祉グループ	島田 佐栄実
天竜福祉事業所社会福祉課 障害福祉グループ	戸塚 美幸
浜松市障がい者基幹相談支援センター	後藤 翔一朗
	岸 直樹
	野島 和樹
	小杉 茉巳
本宮 早奈映	
中障がい者相談支援センター	藤川 晴海
東障がい者相談支援センター	平野 明臣
西障がい者相談支援センター	袴田 章彦
南障がい者相談支援センター	大場 拓弥
北障がい者相談支援センター	金森 勇人
浜北障がい者相談支援センター	大柳豆 勇太
天竜障がい者相談支援センター	那須 将司
医療的ケア児等相談支援センター	阿部 祥美
	高 真喜

#### 4 議事内容

- (1) 市全体会振返り
- (2) 企画会議について
- (3) 地域生活支援拠点等検証委員会報告
- (4) 次年度の日中サービス支援型グループホーム評価について
- (5) 地域体制強化共同支援会議について
- (6) 専門部会活動報告
- (7) 令和7年度浜松市障がい者自立支援協議会研修について
- (8) エリアにおける地域生活支援拠点事業所との連携について
- (9) 各エリアからの情報共有
- (10) 委託相談第三者評価について

5 会議録作成者 障害保健福祉課企画・相談グループ

6 記録の方法 発言者の要点記録  
録音の有無 無

#### 7 会議記録

##### (1) 市全体会振返り

○各エリアから反省や意見等について。

<意見>

- ・ 活動について見やすくなったと意見がもらえたので良かった。
- ・ 報告時間が短いのでポイントを絞って報告することが難しかった。
- ・ 市全体会で報告するために自分たちのエリアで行っている活動について整理するいい機会となった。
- ・ エリア構成員の方へのフィードバックについて意見があったが、今回の様式を活用して、成果を示していきたい。
- ・ 様式の中で、達成率を記載する部分があり、エリアの部会の構成員と共有しながら達成率を検討できるとよいと感じた。また、達成率については、長期目標、中期目標、短期目標に対しての達成率を示すことができると、より、エリアの部会構成員等のモチベーションにつながるのではないかと感じた。

○共同支援会議を2部制にしたことについて

<意見>

- ・ 2部制となり報告はしやすかった。今後も同様の対応で問題はない。
- ・ 報告するにあたり、委員の方からあまり質問が出ていない部分があったため、意見をもらうのであれば説明の仕方を工夫する必要があった。

○委員に対しどのような意見が欲しいか示してほしいという意見について

<意見>

- ・ 各エリアの中で、事前に市全体会の委員から意見をもらいたい部分について整理した上で、報告できるとよい。しかし、報告の内容にもよるため、企画会議でしっかり議論した上で、市全体会に報告できるといい。

○ZOOMでの傍聴参加について

- ・ 今回は、全体を通して音声は比較的クリアだったと感じる。会議中に個別で聞き取り辛いと意見をくれた方も音量調整や再度ログインすることで解決した。
- ・ 聞き取り辛い場合は、チャット等で連絡をもらえるようアナウンスする等の対応を検討する。
- ・ 入室時に参加者の音声が入っていたので、開始時にミュートで参加できるように設定する。または、参加時にミュートにしてもらえるようアナウンスする。

(2) 企画会議について

○企画会議の協議時間の確保するために以下の案を提示する

- ・ 会議時間を見直す
- ・ 開催方法を見直す
- ・ 開催頻度を見直す

<意見>

- ・ 開催頻度は現状どおり隔月に1回がよい。
- ・ ZOOM等のWEB開催することも問題ないが、意見交換がスムーズにできるか不安がある。
- ・ 報告ベースの会議の際にはZOOM等を活用すればよいのではないか。
- ・ 専門部会の活動等については、事前に資料を配布し、意見集約をした上で会議開催ができると時間短縮になるのではないか。
- ・ 開催時間を午後に変更する等の対応ができればよいが、すでに予定が組まれているので、新たに調整するのは難しい可能性がある。
- ・ 会議時間については、30分程度の前倒しであれば対応できる。

<結論>

- ・ 開催頻度については、現状どおり隔月開催とする。
- ・ 会議の開催時間を議題に応じて30分前倒しにて開催する等の検討を行う。
- ・ 開催曜日等を検討するにあたり、対応可能な日を調査し、調整する。

○企画会議の立ち位置の見直しについて、立ち位置を分かりやすくするため、企

画会議と事務局会議の名称変更することについて。

<意見>

- ・ 企画会議が事務局会議に変わることで、委託相談の立ち位置は分かりやすくなると感じる。
- ・ 市全体会で、普段の相談支援事業の観点から意見出しを行えばと思うので、事務局ではなく、委託相談支援センターとして出席したい。

<結論>

- ・ 企画会議で意見の集約や意見交換をしたうえで、市全体会に報告できるようにする。
- ・ 委託相談の立ち位置を分かりやすくするため、現企画会議を事務局会議に変更し、現事務局会議を企画会議に変更していく。正式な変更時期については、要綱等の改正のタイミングで周知する。

### (3) 地域生活支援拠点等検証委員会報告

<質疑・意見>

- ・ なし

### (4) 次年度の日中サービス支援型グループホーム評価について

- ・ 評価と意見交換を分けて対応することを検討している

○次年度からの評価方法について

<意見>

- ・ 自己評価には何か基準があるのか。自己評価は事業所によって解釈に差があると思うので、共通認識で対応できるような記載にする必要がある。
- ・ グループホーム側の主体性がでるような形になるといい。
- ・ 評価について、エリアとグループホームとの関係性を考慮した記載にしてもらえるといい。
- ・ グループホーム内で困っていることについて、意見交換したいので、様式内の各項目で、エリア連絡会と意見交換したいことという項目を追加できるといい。
- ・ 緊急受入の実績と、相談を受けたが、断ったケースについて記載できる欄があると、緊急受け入れ等についてグループホームで抱えている課題を確認できるのではないかと。

<結論>

- ・ 設問内容等については、いただいた意見を元に検討する。

### (5) 地域体制強化共同支援会議について

- ・ 地域体制強化共同支援会議記録表について改正を行ったため、改めて周知する。
- ・ 今まで取り扱った共同支援会議を行ったものについて、整理してフォローアップや課題の追跡ができるように表を作成した。

○共同支援会議後の進捗管理表について

<意見>

- ・ 表に整理することで、進捗が分かりやすくなっている。
- ・ 書式で管理できると、ケースが完結した際にどのような検討の経過があったかわかりやすいのでよい。

<結論>

- ・ 共同支援会議については、今回提示した進捗管理表を使用して運用していく。修正すべき事項については、運用しながら修正していく。

○共同支援会議を検討しているエリアはあるか

- ・ 中エリア、西エリア、北エリアにて検討中となっている。

○今後の対応について

- ・ 今後、第2回市全体会に向けて、各エリアの個別ケースからエリアで抱えている課題について収集していく。

(6) 専門部会活動報告

<質疑・意見>

- ・ なし

(7) 令和7年度浜松市障がい者自立支援協議会研修について

<質疑・意見>

- ・ なし

(8) エリアにおける地域生活支援拠点事業所との連携について

○各エリアで地域生活支援拠点事業所と連携していることはあるか

- ・ 中エリアでは拠点事業所との連携はないが、年内には意見交換のような形でできればと検討している。
- ・ 北エリアでは拠点事業所との連携については、具体的にできていないが、共同支援会議につながる可能性がある案件について拠点事業所と短期入所事業所で意見交換することを予定している。
- ・ 浜北エリアでは浜北ネットワーク部会を使用して、拠点事業所等との連携に繋がればと考えている。
- ・ 天竜エリアでは拠点事業所を集めた上での意見交換等を行っていないが拠点

事業所の職員が地区部会の構成員として参加しており、地区においての課題について検討している。

(9) 各エリアからの情報共有

- ・ 南エリアではこどもの支援について検討するにあたり、ヒアリングを行っている。内容によっては、共同支援会議につながる形で課題を抽出できればと考えている。
- ・ 北エリアでは、11月には北エリアのこども部会にて研修を予定している。また、北エリアつながろう部会で地域住民との交流について企画している。

○医療的ケア児等相談支援センターから情報共有

- ・ 数年前から公立保育園では医療的ケア児の受け入れをモデル事業として行っているが、最近、私立保育園でも訪問看護が同席するのであれば受け入れできるという園が増えてきている。

(10) 委託相談第三者評価について

<質疑・意見>

- ・ なし

次回企画会議

日時：11月27日（木）10時～